令和8年度診療科別目標発表

呼吸器内科

呼吸器内科　医師紹介

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器内科

職名	氏名	卒業年	呼吸器内科専門医
副院長　兼 呼吸器センター所長	小清水 直樹	平成2年卒	●
科部長	松浦 駿	平成15年卒	●
医長	秋山 訓通	平成21年卒	●
医長	田中 和樹	平成21年卒	●
医長	大石 享平	平成25年卒	●
医員	中村 隆一	平成30年卒	
医員	山田 耕太郎	平成31年卒	
医員	山本 雄也	令和2年卒	
医員	藤田 大河	令和3年卒	
医員	松下 翔磨	令和4年卒	
医員	松下 京平	令和4年卒	

呼吸器内科　令和7年度　診療実績

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器内科

入院病名	R5年	R6年	R7年
原発性**肺癌**	319	357	328
気管支肺炎・**肺炎**	245	294	235
特発性**間質性肺炎**	153	141	153
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	38	42	51
気胸、縦隔気腫	41	38	41
細菌性胸膜炎・膿胸	19	34	31
肺胞出血、**血痰**、喀血	28	29	29
Covid-19	43	79	27
膠原病肺	45	29	22
非結核性抗酸菌症	15	26	21
気管支喘息	24	22	19
過敏性肺臓炎	11	10	17
サルコイドーシス	13	9	5
悪性中皮腫	3	6	3
結核	5	5	3
全入院患者(疑い病名含む)	1390	1509	1302
気管支鏡など検査 (胸腔鏡・超音波内視鏡含む)	344	330	291

呼吸器内科　当科の特徴、強み

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器内科

● **スタッフが充実している**
・常勤11人(うち呼吸器専門医5人)

● **呼吸器センターとして、多職種が連携して診療にあたっている**
・6職種：診療部、看護部、薬剤部、栄養科、リハビリテーション科、MSW
・高齢者は、呼吸器以外の疾患の併存、栄養の問題、精神的・社会的問題など多くの問題を抱えていることが多く、その対応を行うことは全人格的医療に必要です。

● **他診療科との連携がスムーズである**
・例）肺癌：呼吸器外科、放射線科、緩和ケア科などと連携し、集学的治療が可能となっています。

中期目標・令和９年度に目指す姿

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器内科



志太榛原地域の呼吸器内科診療の中核を継続
紹介患者さんをお断りすることはありません

- **呼吸器センター**の特性を生かして、全人格的な医療をさらに推進
- **検診による各種疾患**の早期診断・早期治療による**藤枝市民の予後改善**
- **入院患者の減少傾向**に対し、より**密度の濃い診療**を行う
  検診からの新規患者の受診増加の流れを拡充する

短期目標・令和8年度の目標

呼吸器内科

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

No.	項目	目標
1	検診等の拡大・拡充による、 疾患の早期発見・早期治療の充実と 新規入院患者患者数の増加を目指す	・検診・ドックにおける肺がん、間質性肺炎、COPDなど、 生命予後にかかわる疾患の読影を行うことで、早期発見 による藤枝市民の生命予後の改善につなげる ・患者数の増加にもつなげる ・検診未受診者などの新たな患者の受診を進める システム構築
2	多職種連携を生かし、全人格的な医療 をさらに進めることで、 診療所の先生方や患者さんに 選んでもらえるような科を目指す	・患者さんに満足してもらえる医療提供の拡充を継続 ・各部署において、呼吸器に強いスタッフの育成
常時	・診療所との連携強化 ・新規呼吸器感染症への対応 ・入院治療の充実	・医療支援センター・地域医療連携室と協力して、 志太地区を中心とした診療所への営業活動の継続 ・医師会との呼吸器疾患の勉強会(年3回) ・新規疾患発生時の迅速な情報収集 ・学会活動などを通じた医療レベル向上の継続

呼吸器内科　ＰＲしたい内容

藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

呼吸器内科

●多職種連携について

・毎月６職種でカンファレンス行っています。
　テーマ：症例検討、新たな知見・トピックスなど
・職種横断的なテーマを共有し、同じ目線で診療にあたることが大切と
　考えています。

●R6年一般住民に対して「COPD検診」を藤枝市で行いました

・結果：約2万人の検診対象者のうち1.3万人に問診票提出いただき、
　　1.4%がCOPDと診断されました。
・検診を行うことで、呼吸器疾患の死亡原因第4位のCOPDの認知度
　向上にも寄与したと考えています。
・静岡新聞にも掲載して頂き、島田市、富士市や県外の自治体からも
　興味を持っていただきました。

決　　意

当院呼吸器内科は、
志太榛原地区の呼吸器疾患診療の**最後の砦**
である意識を持ち、
これまでも、**これからも**
診療を継続・牽引していきます。
また、**新規の呼吸器患者の開拓**にも
力を入れていきたいと考えています。
ご紹介また逆紹介の際はよろしくお願い申し上げます。